

[添付資料①]

《経路選択に役立つ情報》

【山陽自動車道・中国自動車道】

5月4日(水曜)は、山口 JCT(山口県)から吹田 JCT(大阪府)まで山陽道経由の場合、8時～翌5時までの間で、桜谷 TN 付近(山口県周南市)、志和 TN 付近(広島市安佐北区)、八本松 TN 付近(広島県東広島市)、河内 IC 付近(広島県東広島市)、二子 TN 付近(岡山県倉敷市)、尼子山 TN 付近(兵庫県赤穂市)、宝塚西 TN 付近(兵庫県宝塚市)、中国豊中 IC 付近(大阪府豊中市)を先頭に合計 8 箇所それぞれピーク時に 10km から 25km の交通集中渋滞を予測しており、各渋滞を通過するのに、ピーク時は 40 分から 1 時間 40 分程かかるの見込んでおります。

山口JCTまたは広島JCTから吹田JCTへ向かわれる方は、走行距離は長くなりますが、中国道へ迂回利用する等の分散利用もお考えください。中国道は山口JCTからひょうご東条IC(兵庫県加東市)までピーク時 5km以上の交通集中渋滞が発生しないと予測しております。

なお、中国道経由の場合、約 150 km 先まで給油できない箇所がありますので、燃料切れには十分ご注意ください。(最長給油所間距離 中国道経由:美東SA～安佐SA間 148 km,山陽道経由:吉備SA～龍野西SA間 65 km)詳しくは、http://www.w-nexco.co.jp/sapa/gasoline_price/pdfs/gs_map_west.pdfをご覧ください。

(5月4日(水曜)に山陽道と中国道の上り線(山口から大阪方向)で予測しているピーク時 10km 以上の渋滞)



昨年(平成22年)5月4日(火曜)は、9時から17時に山口 JCT を出発した場合、中国道吹田 JCT までの 451km(山陽道経由)を通過するのに、順調時約 5 時間のところ、7 時間から 9 時間程度かかりました。

一方、同時刻に中国道経由で走行した場合は、吹田JCTまでの 476kmを通過するのに、5 時間から 6 時間 30 分程度と、最大で山陽道経由よりも 3 時間程度早く到着できていました。

(車両感知器で計測した 5 分間平均速度で計算したもので、休憩時間を含まない。)

